第４次総合計画前期基本計画における
令和９年度 政策方針

１　本方針の基本的な考え方

令和９年度は、第４次総合計画の前期基本計画の２年目であり、初年度の取組成果と課題を的確に検証し、本町の将来像実現に向けた歩みを本格化させる重要な年である。

人口動態における経済・社会構造の変化により、生産年齢人口の減少が進んでいる。これに伴い、経済の停滞や地域コミュニティ機能の低下など、住民生活への様々な影響が生じている。これらの課題に正面から向き合い、地域の特色を生かした持続可能な地域づくりを、力強く推進していかなければならない。

本方針は、第４次総合計画の理念を踏まえ、直近の国・県等の動向や社会経済情勢等の変化も考慮し、令和９年度において特に重点的に取り組むべき政策課題等について、基本的な考え方を示すものである。

２　政策方針

第４次総合計画の将来像である「もっとつながる　ほっと安らぐ　ずっと住みたい　美しきふる里　会津美里町」の実現に向け、５つの政策、14 の施策からなる政策・施策体系のもと、それぞれの取組を進めていく。

第４次総合計画重点プロジェクト（みさと未来創生プロジェクト）は、「人口減少に負けない持続可能な未来を実現するための３つの取組」として位置付けた「Ⅰ 人口減少を緩やかにする地域創生プロジェクト」、「Ⅱ 特色ある持続可能な地域づくりプロジェクト」、「Ⅲ 未来を担う人づくりプロジェクト」で構成されている。

本町の最重要課題である人口減少問題に対しては、減少スピードを少しでも緩やかにするための「人口減少緩和策」と、減少を前提としつつ少ない人口でも持続可能な仕組みづくりを進める「人口減少適応策」を両輪として、これら３つの取組を戦略的かつ重点的に推進していく。

（１）人口減少を緩やかにする地域創生プロジェクト

本町の最重要課題である人口減少を少しでも緩やかにするため、移住・定住施策や結婚支援、子育て支援施策を重点的に推進する。

あわせて、農林業や商工観光業等の産業振興を進めることで雇用を創出するとともに、小規模事業者をはじめとする事業者を支援し、スタートアップのための環境整備や関係人口の拡大に取り組み、町内に新たな賑わいと活気を創出する。

（2）特色ある持続可能な地域づくりプロジェクト

高齢化や人口減少に伴うコミュニティの相互扶助機能の低下など、多様化する課題に対し、各地域づくりセンターを拠点として、自主的な解決に取り組む住民を積極的に支援することで、地域運営組織等の設立に向けた活動を推進する。

これにより、多様なつながりや活力を再生・創出し、人口減少下においてもそれぞれの特色を生かした持続可能な地域づくりを進めていく。

（3）未来を担う人づくりプロジェクト

地域とともにある学校づくりと幼小中教育の連携を柱に、次代を担う人材の育成を推進する。

また、ソフト・ハード両面から教育環境の充実を図るとともに、地域学校協働活動の充実・拡大により地域全体で子どもの学びや成長を支えていく。さらに、子どもたちが地域住民とともに郷土について学び、スポーツや文化に親しむ機会を通じて、郷土を愛する心を育成する。